



宇美町企業懇談会から宇美支部保護司会へ寄付金が贈呈されました

7月31日(金)に宇美町企業懇談会内山会長(左から5番目)から宇美支部保護司会古賀会長(左から4番目)への寄付贈呈式がありました。宇美支部保護司会では、いただいた寄付金を有効に活用するために、「社会を明るくする運動」ののぼり旗を購入しました。



贈呈式の様子



社会を明るくする運動ののぼり旗

「四王寺山の経筒」見学と博物館バックヤードツアーを実施しました

9月5日(土)、「西の都」広域連携事業『国重要文化財「四王寺山の経筒」見学と博物館バックヤードツアー』を実施しました。当日は、九州歴史資料館で開催中の特集展示「四王寺山の経筒」にあわせ、学芸員による講座とギャラリートークの後、九州歴史資料館のバックヤードも見学しました。参加者は、宇美町にある貴重な重要文化財の魅力に触れていました。



学芸員による解説で文化財の魅力に触れました

100歳のご長寿をお祝いしました

敬老のお祝いとして、町長が100歳を迎えられる神武 健也さんを訪問し、お祝い状と記念品などを贈呈しました。

今年度100歳になる人は、14人(男性3人、女性11人)で、101歳以上の方は16人(男性0人、女性16人)、最高齢は108歳です。



今年度100歳になる神武 健也さん

「特別版 お城EXPO in 熊本2026」に出展しました

10月3日(土)・4日(日)、熊本城ホール(熊本市)にて、全国のお城ファンが集う「特別版 お城EXPO in 熊本 2026」が開催され、宇美町は「大野城跡 ～日本最古の古代山城～」として初出展しました。

宇美町ブースには、完成したばかりの「初代御城印帳」や「御城印」を求める多くの人が訪れ、宇美町の歴史資源の魅力を広くPRする絶好の機会となりました。



多くの人にブースに寄っていただきました！

柔道家 中西 英敏さんがご逝去されました

宇美町出身で、ロサンゼルス五輪柔道男子代表の中西 英敏さんが、9月12日(土)にご逝去されました(享年68)。

中西さんは町内の小中学校を卒業後、柔道に打ち込まれ、1983年のモスクワ世界選手権71キログ級で金メダルを獲得されました。翌年のロサンゼルス五輪にも日本代表として出場するなど、世界の舞台で輝かしい実績を残されました。引退後は東海大学で男子柔道部監督などを長年務め、数多くのトップアスリートや後進を育成し、日本柔道の発展に多大な尽力をされました。

2020年の町制施行100周年の際は、アンバサダーとして、町の魅力発信にご尽力いただきました。また、関東地区町人会の立上げの時からお力添えいただき、会を盛り上げてくださいました。



モスクワ世界選手権で金メダルを獲得！



全日本柔道選手権大会で形を披露(左)

中西 英敏さんのご逝去に際し、謹んで哀悼の意を表します。長きにわたるご功績に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



関東地区宇美町町人会懇親会であいさつしていただきました

北海道日本ハムファイターズ 中島 卓也選手が引退

宇美町出身の中島 卓也選手が、今シーズン限りで現役を引退されました。

中島選手は町内の小中学校を卒業後、福岡工業高等学校を経て、2008年にドラフト5位で北海道日本ハムファイターズに入団されました。プロ入り後は、代名詞とも言える執念の「カット打法」や卓越した守備、機動力でチームを牽引し、2015年には最多盗塁のタイトルを獲得されました。2016年には全試合出場を果たしてチームを日本一へと導くなど、不動の遊撃手として輝かしい実績を残しました。

9月22日(火・祝)には、引退会見と引退セレモニーが実施され、多くのファンに見守られながら、18年間の現役生活に幕を下ろしました。

また、中島選手は宇美町との温かい絆も大切にされ、2018年には、母校の井野小学校を訪れ、「食とスポーツ」をテーマに特別授業を行っていただきました。さらに2020年の町制施行100周年の際は、アンバサダーとして、町の魅力発信にご尽力いただきました。

中島選手、18年間本当にお疲れ様でした。たくさんの勇気と感動をありがとうございました！今後、益々のご活躍を、宇美町から心より応援しています。



母校・井野小学校で特別授業を行う中島選手

